

## 助成対象事業成果報告書(概要版)

制度名	高齢者・障害者向け通信・放送サービス充実研究開発助成金
助成対象事業名	「DAISY方式による即時情報配信システムの研究開発」
助成対象事業者名	シナノケンシ株式会社

### [研究開発課題の全般について]

① 助成対象事業の概要	本研究開発では、サーバーにおける自動DAISY変換と即時配信を組み合わせることで、障害の有無にかかわらず誰に対しても必要な時に必要な情報が提供できるシステムを実現する。
② 助成対象事業の目標	DAISY自動変換アプリケーション、および情報配信システムの実用化、国際標準化

### [平成20年度実施部分について]

③ 平成20年度助成金	12,387 千円
④ 研究開発の実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度開発した個々のソフトウェアの機能を拡張するとともに、教育分野での実証実験を通して完成度を高める</li> <li>・それらを組み合わせた生活情報の即時配信システムの実証実験を行い、パッケージ化を見据えたニーズの把握を行う。</li> <li>・DAISY自動変換部分については、高音質のサーバーアプリケーションと低価格で導入し易いスタンドアロン型の両方の商品化を目指して開発を行う。</li> </ul>

### [平成20年度実施部分における研究開発課題の成果や評価結果について]

⑤ 研究開発の成果	<p>1) DAISY自動変換アプリケーション、利用者向けパソコン再生ソフトウェア</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・想定利用対象者に実際に使って頂いた結果をフィードバックすることで、具体的な商品仕様を固めていくための知見が得られた。</li> <li>・再生ソフトの機能を向上させることにより、制作図書仕様の単純化および制作段階での負担を低減できる目処が付いた。</li> </ul> <p>2) 生活情報の即時提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開発した音声合成による自動生成システムを用いて生協の商品情報提供の実証実験を実施した。計20名の視覚障害者が参加しシステムの有効性が確認された。</li> </ul> <p>3) DAISY自動変換</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サーバー型の運用については、音声合成を、日本語解析部分と音声合成する部分を分離して運用することで、読み間違いへの編集、データベース管理による効率化の目処がついた。また、スタンドアロン型は、汎用のマルチメディアDAISY制作・編集ソフトとしてのパッケージ化の目処がついた。</li> </ul>
⑥ 研究成果の応用状況、利用状況	平成21年4月以降、それぞれの研究成果を商品化すべく開発を継続中。 生協の商品情報提供については、平成21年度中の実サービス開始を目指している。